

BATTLEZ 2TAIL-PIPE EXHAUST (ZS-2)
Installation Instructions

Vehicle Application
TOYOTA LAND CRUISER 300 (21.08-)
for DIESEL

このたびはBATTLEZマフラーをお買い上げいただきまことにありがとうございます。

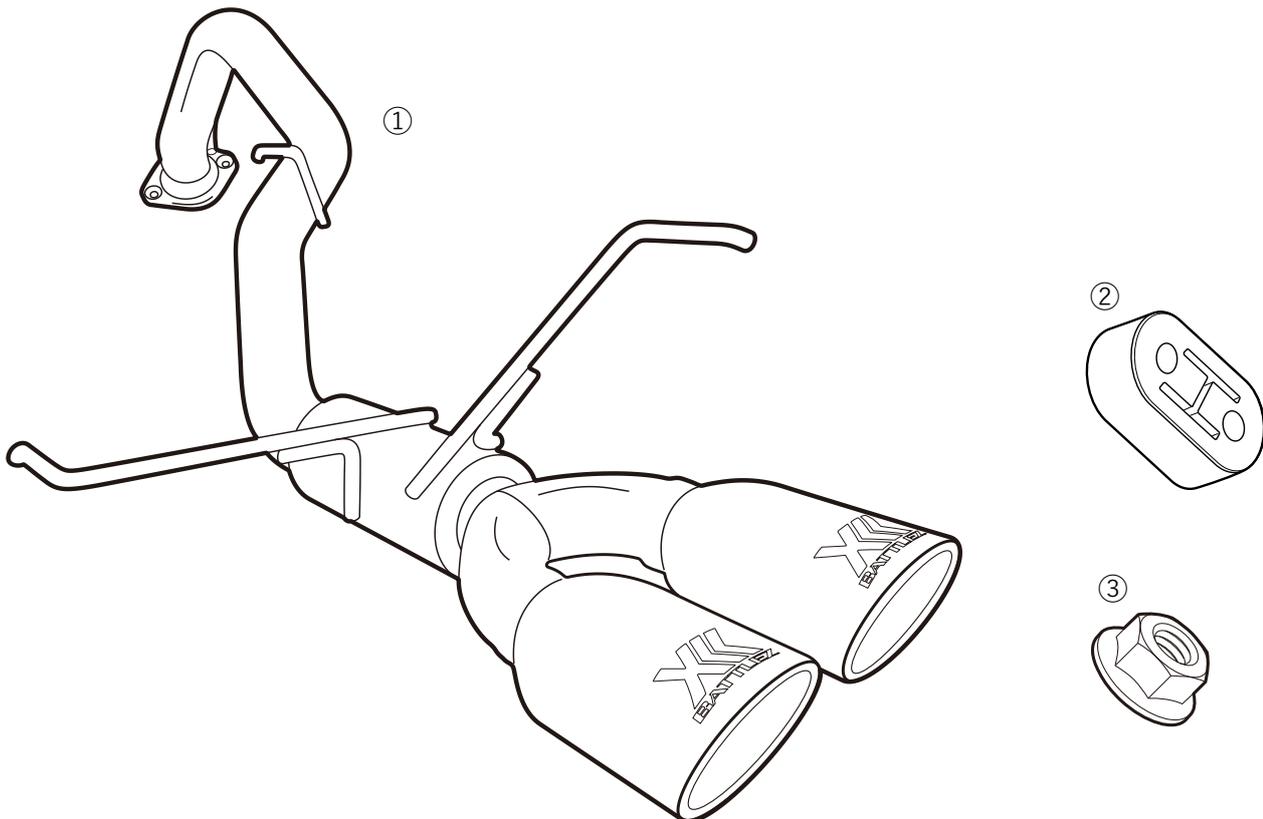
本書はマフラーを取り付ける場合の要領と取り扱いについて記載しています。

取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

< 作業後は本書を製品の使用者様にお渡ししていただき、使用者様は本書を大切に保管してください。 >

取付参考時間 INSTALLATION TIME		約0.5時間 0.5-hours	必要工具 ボックスレンチ(HEX14) TOOL メガネレンチ(HEX14) マフラーハンガープライヤー又はウォーターポンプ プライヤー トルクレンチ E型トルクスケット (E10) 潤滑油
作業難度 SKILL LEVEL	① パーツ交換/取付 Easy ② 車体加工あり Moderately Easy ③ 専門知識が必要 Moderately Difficult ④ 分解整備 Difficult		

部品構成



構成部品名称 DESCRIPTION	数量 QTY	構成部品名称 DESCRIPTION	数量 QTY
① マフラー MUFFLER	1	③ フランジ付ナットM10 HEX.FLANGE NUT	2
② パイプサポート PIPE SUPPORT	1		

取り扱い上のご注意

この取扱要領書で使用している表示の意味と内容

-  **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、生命の危険または重大な障害を負う可能性がある内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、事故による障害を負う可能性または物的損害が想定する内容を示しています。
-  **アドバイス** この表示は効率よく作業を行うために知っていただきたい内容を示しています。

商品は改良のため仕様および形状などを予告なく変更することがあります

取り付け作業を行うまえに

-  **警告** ●取り付ける車両の安全を確認・確保してください。
-  **注意** ●取付要領書を必ずお読みください。

安全に作業を行うために

-  **注意** ●純正部品の脱着は当該車両の修理書にしたがい作業を行ってください。
- 製品は丁寧に扱ってください。
- 作業に適した服装で作業を行ってください。

取り付けについて

-  **警告** ●必ず既定の締め付けトルクにて締め付けを行ってください。
-  **注意** ●取り付け後には必ず取り付け確認と走行テストを行ってください。

使用上の注意事項

-  **警告** ●設計荷重の範囲内で使用してください。
-  **注意** ●定期的な点検を行ってください。
- 薬品などの付着に注意してください。
- 路面とのクリアランスや環境変化による走行には十分ご注意ください。

中古品の売買および譲渡や廃棄について

-  **注意** ●同じ商品でも販売時期や仕様変更などにより内容が異なる場合があります。
 - 商品や付属品が正確に判別することができない場合、お問い合わせに対する回答内容は保証いたしかねますのでご了承ください。
 - 商品に不具合が生じている場合はお買い求めの販売店や弊社にご相談ください。
-  **アドバイス** ●商品の破棄は専門家に相談してください。

保証について

- 初期不良の保証…お届けから1週間以内
商品の破損、不具合などトラブルがあった場合、初期不良の保証対象として修理、代品交換、返品を承ります。
- 製品保証…弊社オリジナル商品をご購入より1年間 ※ただし、期間内でも走行距離20,000kmまで
初期不良に該当する場合や一部消耗品を除き、購入履歴をお調べし規定に従い保証いたします。

 保証についての詳細はJAOSオフィシャルサイトをご参照ください。【保証について】 www.jaos.co.jp/support/policy



取付要領

※図中や文中の○数字は構成部品のナンバーを示しています。

1. 純正マフラーを取り外します。

・自動車メーカーの修理書（サービスマニュアルなど）の作業手順を参考に純正マフラーを取り外します。

※取り外した純正マフラーの純正パイプサポートは再使用します。



アドバイス

- ・ボルト部が外しづらい場合は潤滑油をボルト部に注油し、浸透させてから外してください。
- ・パイプサポート（吊りゴム）は潤滑油を注油し、マフラーハンガープライヤーやウォーターポンププライヤーなどを使用すると容易に取り外すことができます。

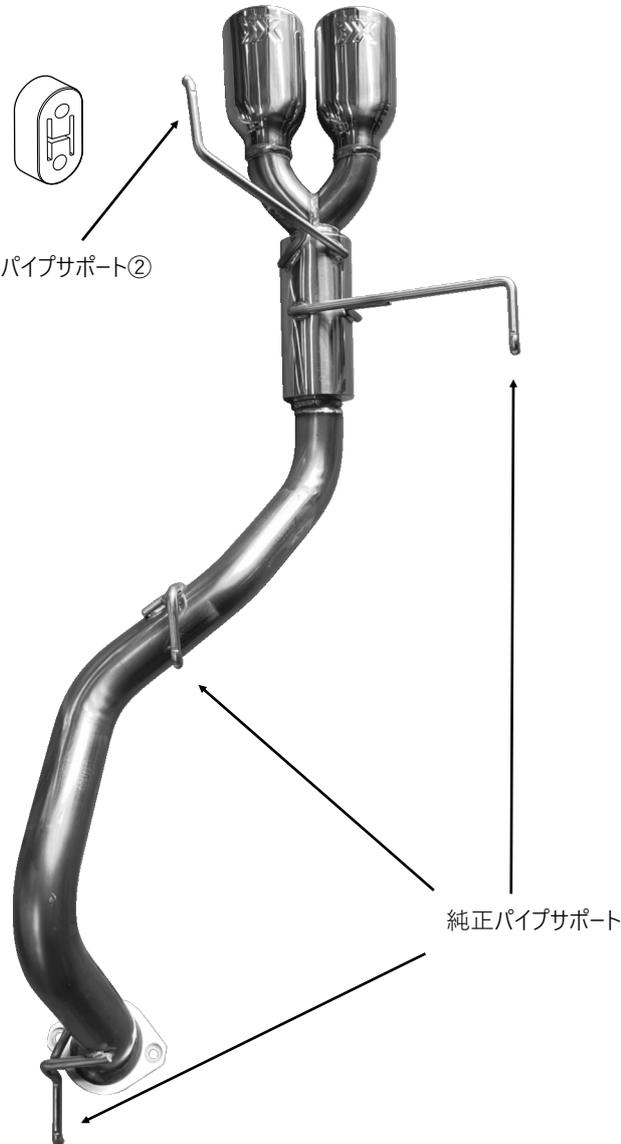
・純正パイプサポートが劣化していないかを確認します。



注意

劣化したパイプサポートは絶対に再使用しないでください。パイプの脱落や破損の原因となりますので、必ず新しい物と交換してください。

2. マフラーを取り付けます。



・図を参考にマフラー①へ取り外した純正パイプサポートとパイプサポート②を取り付けます。



アドバイス

純正パイプサポートは種類がありますので、元の位置に装着してください。

・マフラー①を車両側に吊ります。

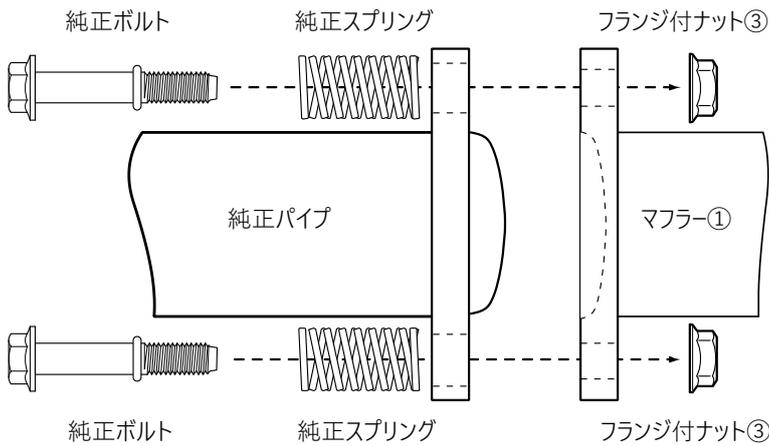


注意

取り付け時にテールエンドが車体などに当たって傷が付かない様、取り付け部周辺を保護してください。

3.フランジ部のボルト類の仮組みをします。 ※年式によって2パターンを取り付け方法があります

A. 純正ボルトの場合



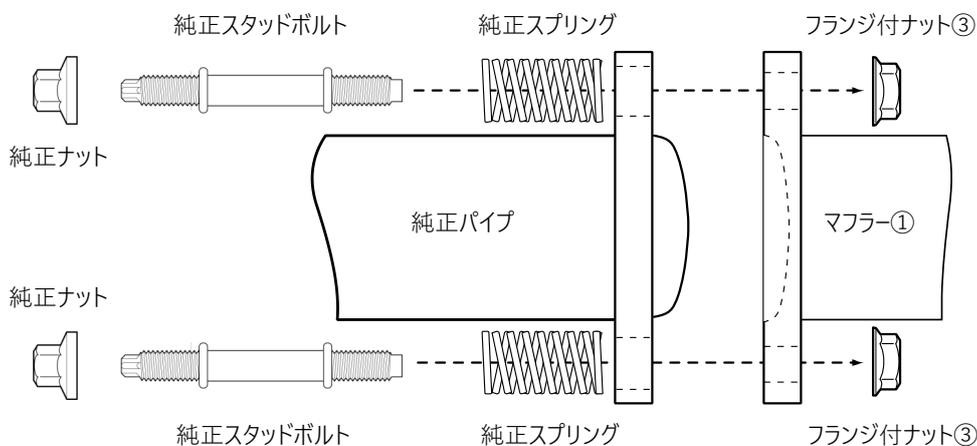
・マフラー①と純正パイプを合わせ、図のように純正ボルト・純正スプリング・フランジ付ナット③を仮組みします。



アドバイス ボルトの増し締めは指示があるまでは行わないでください。

本書の「仮組み」とは、工具を使わず手などで締めていき、脱落などは起きないが止めている物同士が多少動き、調整が出来る程度の固定を指します。

B. 純正スタッドボルト+ナットの場合



・取り外した純正マフラーから純正スタッドボルトを取り外します。

・純正スタッドボルトに純正ナットを組み付けます。

・マフラー①と純正パイプを合わせ、図のように純正スタッドボルト・純正スプリング・フランジ付ナット③を仮組みします。



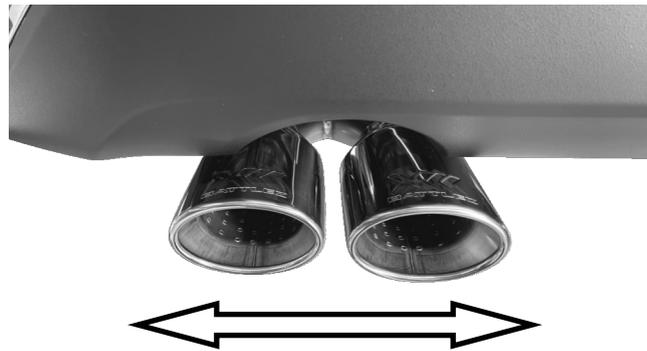
アドバイス ボルトの増し締めは指示があるまでは行わないでください。

本書の「仮組み」とは、工具を使わず手などで締めていき、脱落などは起きないが止めている物同士が多少動き、調整が出来る程度の固定を指します。

4.位置確認・調整とボルト類の増し締めをします。



推奨締付トルク：40～50N・m



・バンパー側から見たテールの位置関係を、各パイプサポートやフランジ部の合わせなどで調整しながら、仮組みした箇所のボルト類を増し締めします。

推奨締付トルク：40～50N・m

! **注意** ボルト類を締付ける場合は2点を交互に締付けるようにしてください。

装着状態の確認

- 1.ボルトの増し締めが全て完了したら、確認の為マフラーを揺さぶり、各部のクリアランスを点検してください。
- 2.エンジンを始動してから軽く暖機運転を行い、2000rpm～2500rpmに回転を上げ、フランジ部からの排気ガス漏れや異音がしないか確認してください。
- 3.試運転を行って再度、フランジ部からの排気ガス漏れや異音がしないか確認してください。
- 4.1～3の項目に不具合があったら最初からボルトを締め直してください。

! **注意** 各所でクリアランスは十分確保してください。接触及び近接していると、異音や排気熱による樹脂製品等の変形・熔解の原因となります。